

熊野古道 (赤木～大日越え)

[※ 実施日—2025年1月28日(火)]

(ハイライトシーン)
② (発心門王子)



※弥生班 計10名



① (熊野本宮大社)



③ (柿原茶屋跡)



④ (湯の峰温泉)



⑤ (大日越え)



⑦ (大斎原の大鳥居)



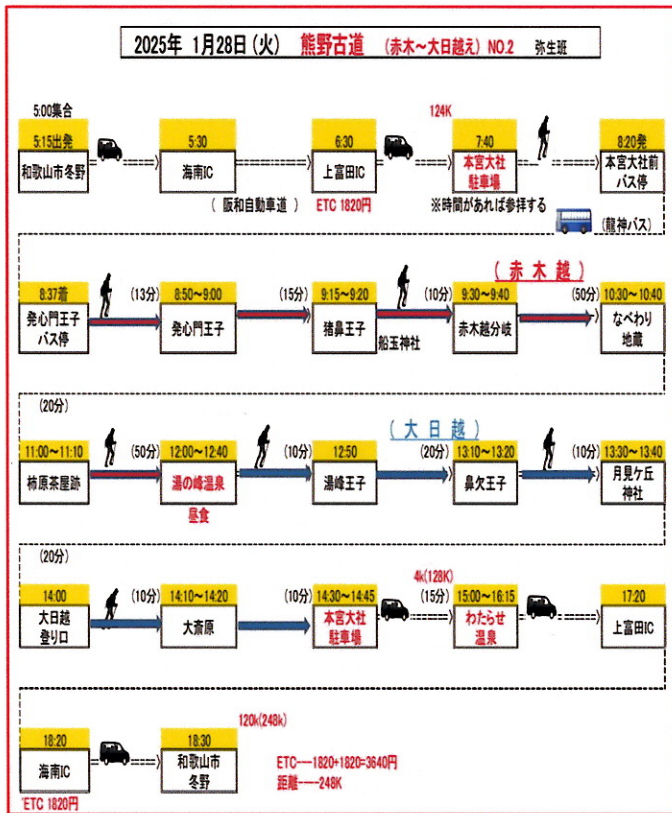
⑥ (大斎原)



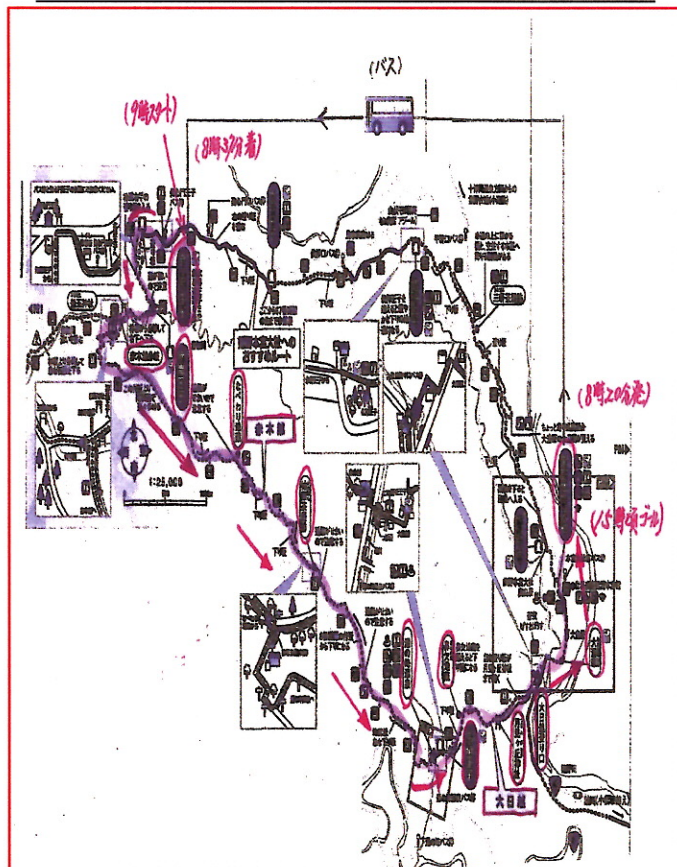
熊野古道 (赤木~大日越え)

※(山行日) ---- 2025年1月28日(火)

※(行程) [予定]



(熊野古道 赤木~大日越え ロードマップ)



紀峰山の会 (弥生班)

(メンバー) -----計 10名

木村、中濱、山本、八木、大野、大森、有本 (らいちょう班)-----岩見、五所尾、小松

※[はじめに]

(熊野古道)

○新宮市の熊野速玉大社と田辺市の熊野本宮大社。そして那智勝浦町の熊野那智大社。これら熊野三山を詣でる路が「熊野古道」です。
○熊野古道は、「伊勢路」「中辺路」「小辺路」「大辺路」「大峯奥駈道」のルートがある。

(赤木越え)

○赤木越えは、中辺路の三越峠を越えて発心門王子に至る手前にある船玉大社付近から、湯の峰温泉へと向かう道を指します。
赤木越分岐からは150m程の標高差を一気に上る事になりますが、その先には尾根道が続き、心地よくウォークを楽しむことができます。

(大日越え)

○大日越えは、中辺路の熊野本宮大社と湯の峰温泉を結ぶ山越えのコースで、距離は比較的短いですが、急な階段状の上り(下り)がある道です。

※[計画の目的]

○歴史の「蟻の熊野詣」の体験と温泉を楽しむ

(写真1)

(熊野本宮大社)



- 10名参加。
車2台で和歌山市冬野を5時過ぎに出発し、熊野本宮大社の駐車場へ7時40分到着。
- まずは安全山行の参拝。

(写真2) (バス移動)



・バスで熊野本宮大社から発心門王子へ

(写真5) (赤木越えの標識1番)



・赤木越えは、中辺路から三越峠を越して発心門王子に至る手前「船玉神社」付近から「湯の峰温泉」に向かう道
・標識は1番から11番までありました。

(写真3) (登山口)



・発心門休憩所で準備体操し、いざ出発!

(写真4) (発心門王子)



・「王子」とは熊野の神様の御子神を御祀りした場所のこと
・発心門王子は数ある王子社の中でも特に格式の高い「五躰（ごたい）王子」の一つとして格別の崇敬を受け、ここからが熊野本宮大社の神域とされた場所です。

(写真6) (なべわり地蔵)



(写真7) (柿原茶屋跡)



(写真8)

(湯の峰温泉)



- ・湯の峰温泉近くの駐車場で昼食。
温泉卵を食べたかったが、店が休みで残念!

(写真9)

(大日越え)



- ・大日越えは、湯の峰温泉と熊野本宮大社を結ぶ山越えのコース。距離は比較的短いが、急な階段状の上りが大変。

(写真10)

(八咫鳥)



- ・大日越えを下り大斎原への手前に八咫鳥像がある。

(写真11)

(大斎原)



- ・15時、到着

(写真12)

()



※[最後に]

- 出発時は少し時雨れていたが、山行時は晴天となり快適な登山ができました。
- 発心門王子から湯の峰への赤木越えは、以前に逆ルートで山行したが、今回は整備され少しルートが変更されていたと感じた。湯の峰の昼食時、現地での温泉卵を期待していたが、店が休みで卵が買えず残念であった。湯の峰から大斎原、熊野大社への大日越えは、急登続きでハードなルートであるが、歴史上の「蟻の熊野詣」に思いを馳せながら山行しました。大日越えを下りきった時はメンバーは疲れ気味であったが、熊野川に出て大斎原に着いた時は、霊験新たかな気持ちで、山行お礼の参拝をしました。
- 帰路では、わたらせ温泉で疲れを癒し楽しい山行でした。